

令和3年度

国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	5 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 国語総合」 （第一学習社）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店） 常用ダブルクリア 四訂版（尚文出版） 論読 現代文Ⅰ（浜島書店） 読解をたいせつにする 体系古典文法 九訂版(数研出版) 三訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法学習ノート(数研出版)						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「国語総合」の授業は「国語総合 甲（現代文分野）」と「国語総合 乙（古典分野）」に分けて行います。
  - ・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
  - ・ICTやディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
  - ・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
  - ・古典の時間では、有名な古文や漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識を身につけるための学習を行います。
  - ・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
  - ・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

2．学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、ワーク、ワークシート等）	・行動の観察（発表の評価等）	・記述の確認及び分析（ノート、ワーク、ワークシート、原稿用紙等）	・行動の観察 ・記述の確認及び分析（ノート、ワーク、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、ワーク、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	随想の内容を理解するⅠ	【現代文】 教材 「驚くという才能」	○	◎		◎	○	a:調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。  b:調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。  d:考え方の進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。  e:話すこと・聞くことに必要な語句の用法について理解している。	a:行動の観察  b:行動の観察及び記述の確認  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト
	評論の内容を理解するⅠ	【現代文】 教材 「水の東西」	○			◎	○	a:考え方の進め方など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。  d:考え方の進め方など、文章の筋道を的確に捉えている。  e:正しく理解し、使いこなせることばの数を増やしている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト
	小説の内容を理解するⅠ	【現代文】 教材 「羅生門」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。  d:人物、情景、心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。  e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト
	文学創作をする	【現代文】 「羅生門」の感想文や話の続きを書く。	○			◎	○	a:構成を考え、自分の考えや伝えたいことを他者に伝わるように描こうとしている。  c:構成を考え、自分の考えや伝えたいことを他者に伝わるように描いている。  e:原稿用紙の使い方や、文章構造について理解している。	a:行動の観察  c:記述の確認  e:記述の確認
1	古文入門	【古典】 教材 『宇治拾遺物語集』 「児のそら寝」 「絵物師良秀」 『竹取物語』 「かぐや姫のおひたち」 『徒然草』 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」	○			◎	◎	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。  d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。  e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト
	詩の鑑賞	【現代文】 教材 「一つのメルヘン」 「自分の感受性くらい」	○			◎	○	a:詩で表現される世界をイメージし理解しようとしている。  d:詩で評伝される世界をイメージし理解している。  e:詩に用いられている表現効果について理解している。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査

2	小説の内容を理解するⅡ	【現代文】 教材「旅する本」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。  d:人物、情景、心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。  e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト
	評論の内容を理解するⅡ	【現代文】 教材 「ネットが崩す公私の境」	○			◎	○	a:考え方の進め方など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。  d:考え方の進め方など、文章の筋道を的確に捉えている。  e:正しく理解し、使いこなせることばの数を増やしている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト
	短歌・俳句を味わう	【現代文】 教材 「その子二十」 「こころの帆」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。  d:人物、情景、心情などをどうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。  e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト
2	古文の物語を楽しむ	【古典】 教材 『伊勢物語』 「芥川」	○			◎	◎	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。  d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。  e:古文を読むことに役立つ、文語のきを身に付けている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト
	漢文入門	【古典】 教材 故事成語 「狐借虎威」 「蛇足」  漢文訓読の基礎…返り点・再読文字・書き下し文	○			◎	◎	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化を受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。  d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。  e:漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト
	古文の日記を読む	【古典】 教材 『土佐日記』 「門出」	○			◎	◎	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。  d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。  e:古文を読むことに役立つ、文語のきを身に付けている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト
	古文の和歌を味わう	【古典】 教材 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	○			◎	◎	a:和歌の優れた表現に親しみ、和歌に詠まれた思想・感情や情景を読み取ろうとしている。  d:和歌の優れた表現に親しみ、和歌に詠まれた思想・感情や情景を読み取っている。  e:和歌の修辞技巧や各歌集の特色を理解している。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期 考查  e:定期考查及び小テスト

3	表現の 実践	【現代文】  教材 スピーチをする	○	◎	◎	○	a:意見文を書いたり、他の人の意見を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げようとしている。  b:調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。  c:構成を考え、自分の考えや伝えたいことを他者に伝わるように描いている。  e:原稿用紙の使い方や、文章構造について理解している。	a:行動の観察  b:行動の観察及び記述の確認  c:記述の確認  e:記述の確認	
3	評論の内容を 理解するⅢ	【現代文】  教材 「グローバリズムの『遠近法』」	○			◎	○	a:考え方の進め方など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。  d:考え方の進め方など、文章の筋道を的確に捉えている。  e:正しく理解し、使いこなせることばの数を増やしている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト
	古文の 軍記物語を 読む	【古典】  教材 『平家物語』 「祇園精舎」 「木曾の最期」	○			◎	◎	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。  d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。  e:古文を読むことに役立つ、文語のきを身に付けている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト
	唐詩を 学ぶ	【古典】  教材 『唐詩の世界』	○			◎	◎	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化を受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。  d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。  e:漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	a:行動の観察  d:記述の確認及び定期考査  e:定期考査及び小テスト

※ 表中の観点について

a：関心・意欲・態度

b：話す・聞く能力

c：書く能力

d：読む能力

e：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。